

あかがわボランティアアプリ

先日全道社協職員研究協議会にて、あかがわボランティアアプリについて発表する機会を設けていただきました。全道の取り組みの中から赤井川村のボランティアアプリを取り上げていただいたのは、皆さんの声と北海道情報大学、しっかりと話し合っただけの結果だと思えます。他にも、後志地区ボランティア研修会でも、あかがわボランティアアプリについて少し説明する機会をいただきました。少しずつ赤井川村の取り組みが、他市町村にも伝わってきています。これからも一つ一つの声をしっかりと受け止めて活動していきたいと思えます。いつもありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



友達追加をお願いします。 ID検索 @374mpvho or QRコード読み取り

わっかでは生活支援（調理・掃除）だけではなく生活に関するボランティアを受け付けています。

- ・スマホやデジタル機器の個別指導 ・お話し相手 ・お散歩
 - ・趣味の相手（将棋や囲碁）等お気軽にお問い合わせください。
- 1時間500円での有償ボランティアです。
お問い合わせは 赤井川村社会福祉協議会 0135-34-6068



LINE 友だち追加

食の伝承

美味しい手作りの味を提供している配食サービス。数あるメニューの中から一品を選び、レシピを掲載し皆さんに感じて頂きたいと思えます。



～えび・マスのフリッター～

材料

- ・えび又はマス
- ・たまご
- ・天ぷら粉
- ・酒（少々）
- ・塩（少々）
- ・水（適量）

作り方

- ①.たまごを卵黄と卵白に分ける
- ②.卵白に塩を入れ泡立てる
- ③.天ぷら粉と卵黄、酒を少々と水を少しずつ玉にならないように入れ混ぜる。硬さはホットケーキくらい
- ④.③に②を少しずつ入れ混ぜる
- ⑤.えび又はマスに④を漬ける
- ⑥.揚げる



えびもマスもどちらも美味しかったです。えびでやる際は、少し大きめのものを使うと特別感が味わえます。

あとなぎ 8月は今までにないくらいの暑さが続き、体の不調を訴える方も多かったと思えます。平野自身初めて熱中症になり生命の危機を感じました。水分摂取していれば良いわけではなく、塩分・糖分も大事なんだとこの夏に気づかされました。今年は秋がなくいきなり冬がくるのではないかとされていますが、何はともあれどんな時でも美味しいものを食べて乗り切りましょう。

発行日

令和5年9月15日

発行・編集

赤井川村たすけあい隊

事務局：赤井川村社会福祉協議会

〒046-0501

余市郡赤井川村字赤井川318番地1

赤井川村デイサービス内

TEL 0135-34-6068

E-mail: hirano@akaigawa-shakyo.or.jp



No.19



赤井川村生活支援体制整備協議体(赤井川村たすけあい隊)

赤井川村/赤井川村社会福祉協議会

Q 生活支援体制整備事業って何??

A. 高齢者のちょっとした生活の困りごとを解決する支え合いの仕組みづくりをしています。主体となって活動しているのは**協議体**（構成員23名）と**生活支援コーディネーター**（平野）です。

Q どんなことをしているの??

A.

① 地域の居場所、高齢者の生活に必要なサービスや場所などの把握や整備
例えば、地域サロンたんぽぽ・トランプカフェ・お茶会等の把握やお任せ便カケルの時刻や場所の掲載等



② 地域にどんな困りごとやニーズがあるのかを聞き取る
例えば、村内を回り住民さんとのコミュニケーション、関係機関との情報共有



③ 高齢者と地域住民とのつながりや支え合いの担い手の育成
例えば、養成講座やハンドリップ体験、学びの喫茶等



④ 地域の困りごとの解決方法を協議体で話し合う
例えば、有償ボランティアわっかの立ち上げ、あかいがわボランティアアプリ等



生活支援体制整備事業を行うためには、地域の皆様のご協力
とご相談があつての事業です。

ひとりで抱え込まずお気軽にご相談ください。
電話 0135-34-6068（赤井川村社会福祉協議会内）
もしくは、協議体構成員や平野にご相談ください。
協議体構成員は以前発行のいろどりをご覧ください。

かおひ
けて気
て軽
くにく
ださす
さいい



地域の居場所 地域サロンたんぽぽ

今年度で8年目を迎えた、どなたでも気軽に立ち寄りふれあえる場所地域サロンたんぽぽ。
先日たんぽぽ内で、来てくれた方々が楽しめるミニゲームをされていました。



買い物やお茶を楽しみ、おしゃべりに花を咲かせ笑顔になれる。そんな場所がここにある。
来るだけで元気になり、気かけあう関係づくりがあるホッと場所です。
6月から秋ごろまで 毎週月曜日・木曜日（月・木が祝日でもオープン）午前9時30分～正午
場所 セイコーマート斜め向かい旧福田商店

地域のニーズから

集まりの場や地域の方の声から、キャッシュレス決済やマイナンバーカード、スマホに関連する相談や困りごとが寄せられたことを受け、学びの喫茶と称しスマホの操作や村で唯一のコンビニ、セイコーマートのアプリ登録からペコマの使い方を、コーヒーを飲みながら行いました。



幸田駐在所長が、参加者の方へスマートウォッチの設定を教えてくれたり、反射テープを参加者へお渡しし、事故の啓発をしてくださいました。



今まで聞くに聞けなかったスマホの操作やキャッシュレス決済（PayPay等）の事、参加された皆さん
思い思いにわからないことを聞かれスッキリされていました。また、久しぶりに顔を合わせた方もい
てお話を花を咲かせていました。これを機に繋がり輪が広がればいな～と思いました。

北海道医療大学4年奥野拓真さんが、研究のため赤井川村に来ていました。

近年地域のつながりの希薄化が問題視されており、地域で働く専門職が地域のつながりに対してどのような実践を
実施し、その実践がどのような効果を得ることができるのか、という研究のために来ていました。



配食サービスや新緑たし、協議体に参加
た。研究テーマに
た。研究テーマに
た。研究テーマに
た。研究テーマに